

## 屋根裏収納の作成方法

家庭用バージョンで屋根裏収納の作成方法をご紹介します。

ここでは、2階建ての家に対して屋根裏収納があるプランを作成します。

屋根裏収納のはしごは、リクエストパーツからダウンロードして利用します。

### 完成例

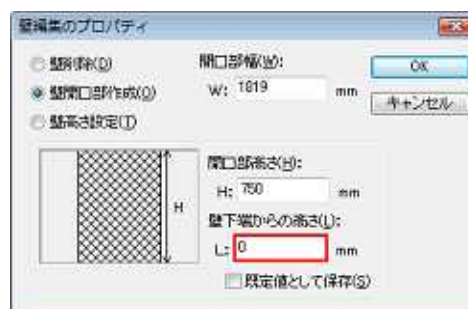
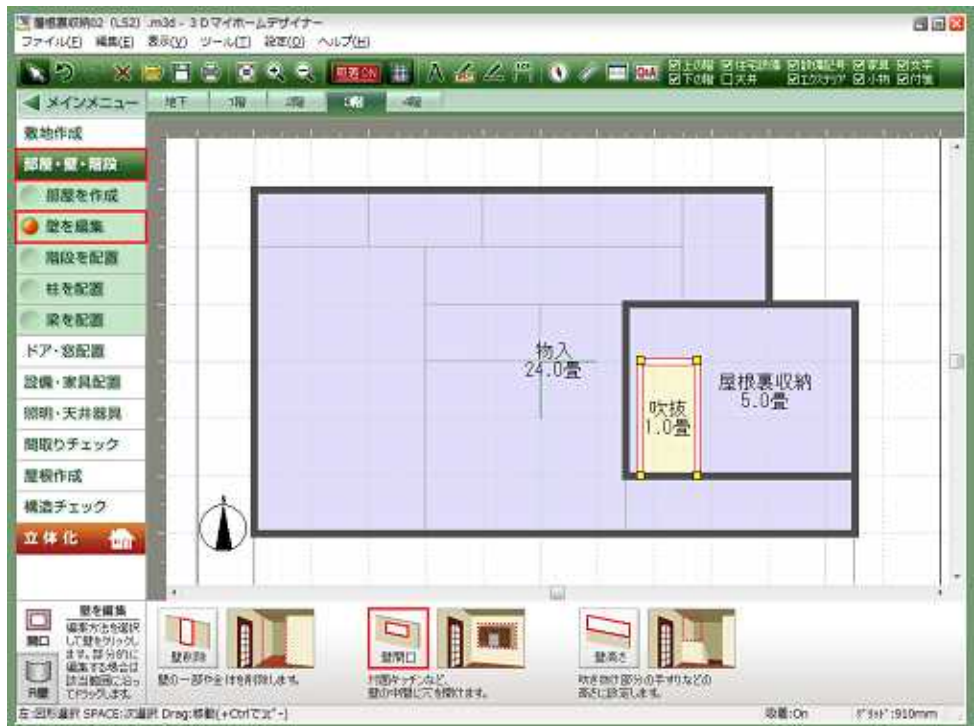
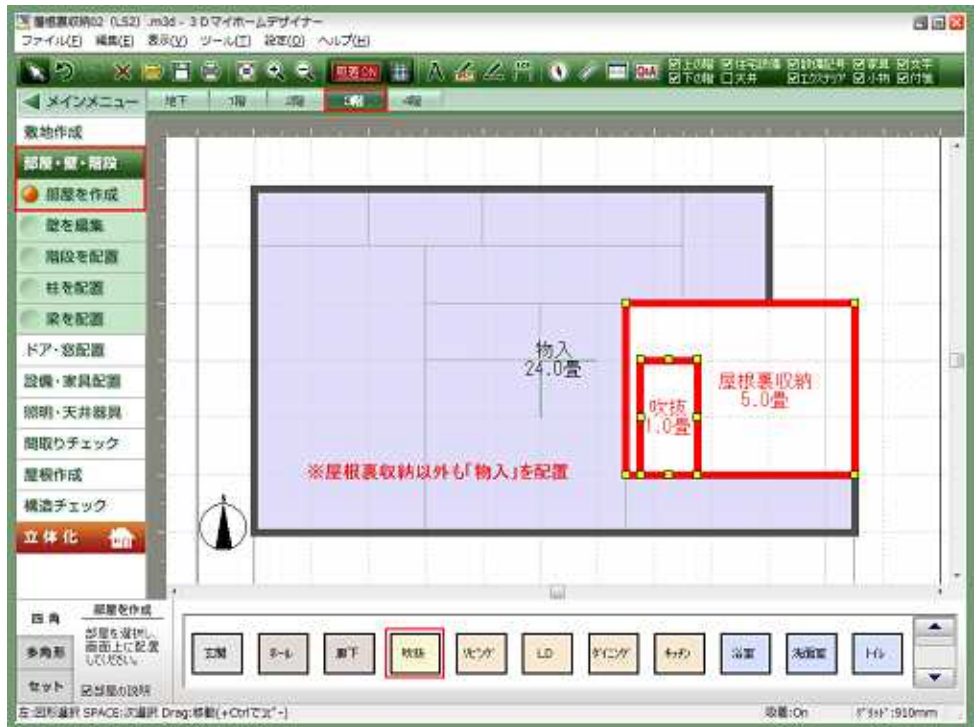


「3DマイホームデザイナーLS2」で作成しております。

対象バージョン 3DマイホームデザイナーLS2/マイホームデザイナーLS

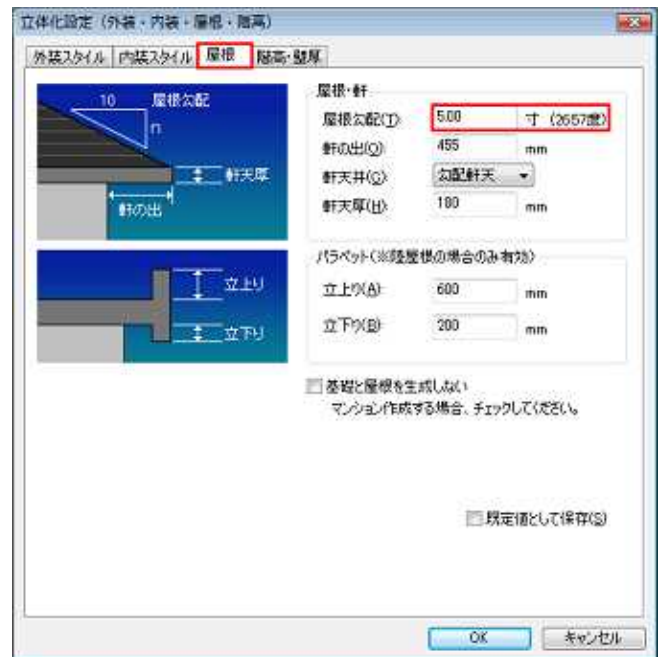
**操作 1** 屋根裏収納(3階)の間取りを作成します。

- 1) 先に1階、2階の間取りを作成しておきます。
- 2) ナビの[部屋・壁・階段] [部屋作成]を選択し、フロアタブの[3階]を選択します。
- 3) 屋根裏収納の場所に「物入」を配置し、屋根裏収納への入口に「吹抜」の部屋を配置します。
- 4) 屋根裏収納以外の場所にも「物入」を配置します。
- 5) ナビの[部屋作成] [壁編集]を選択し、パレットの[壁開口]をクリックしてはしごの昇り口の壁をクリックします。
- 6) 設定した壁開口をダブルクリックし、[壁編集のプロパティ]の「壁下端からの高さ」に「0mm」と入力して[OK]をクリックします。
- 7) すべての壁開口に対して、同じようにダブルクリックし、[壁編集のプロパティ]の「壁下端からの高さ」に「0mm」と設定します。



## 操作2 屋根と3階の天井高・階高の設定をおこないます。

- 1) ナビの[屋根作成] [屋根作成]を選択し、フロアタブを[3階]に切り替えます。
- 2) パレットから屋根の形状を選択します。
- 3) 屋根面を右クリックして「屋根の立体化設定」を選択します。  
[立体化設定(外装・内装・屋根・階高)]の[屋根]タブが表示されます。
- 4) 「屋根勾配」を設定して[OK]をクリックします。このとき、屋根勾配の角度をメモしておきます。  
ここでは屋根勾配を「5.00 寸」としています。
- 5) 「設定」メニューの「立体化設定(外装・内装・屋根・階高)」を選択し、[階高・壁厚]タブに切り替えます。
- 6) 「3階天井高」に「100mm」、「3階階高」に「101mm」と入力して[OK]をクリックします。



### 操作3 立体化して3階の天井を削除します。

1) 間取り画面の[立体化]をクリックし、ナビの[内装材設定] [天井材を貼る]を選択し、フロアタブの[3階]を選択します。

2) 屋根裏収納用の「物入」の部屋をクリックして選択し、右クリックして「このパーツ階層へ移る」を選択します。  
階層を移動し、「物入」だけが表示されます。

3) 「物入」の天井をクリックして選択し、ツールバーの[削除]ボタンか、[Delete]キーを押します。

確認の画面が表示されたら[はい]

をクリックします。  
天井が削除され、「物入」の床が見えます。

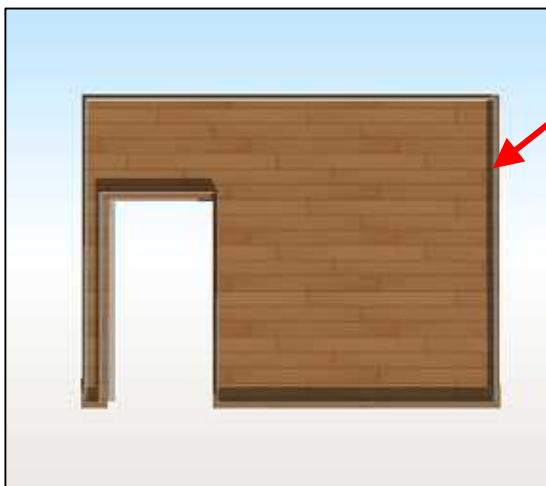
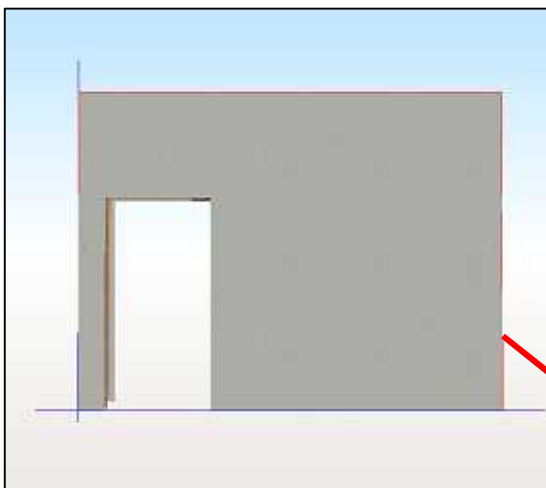
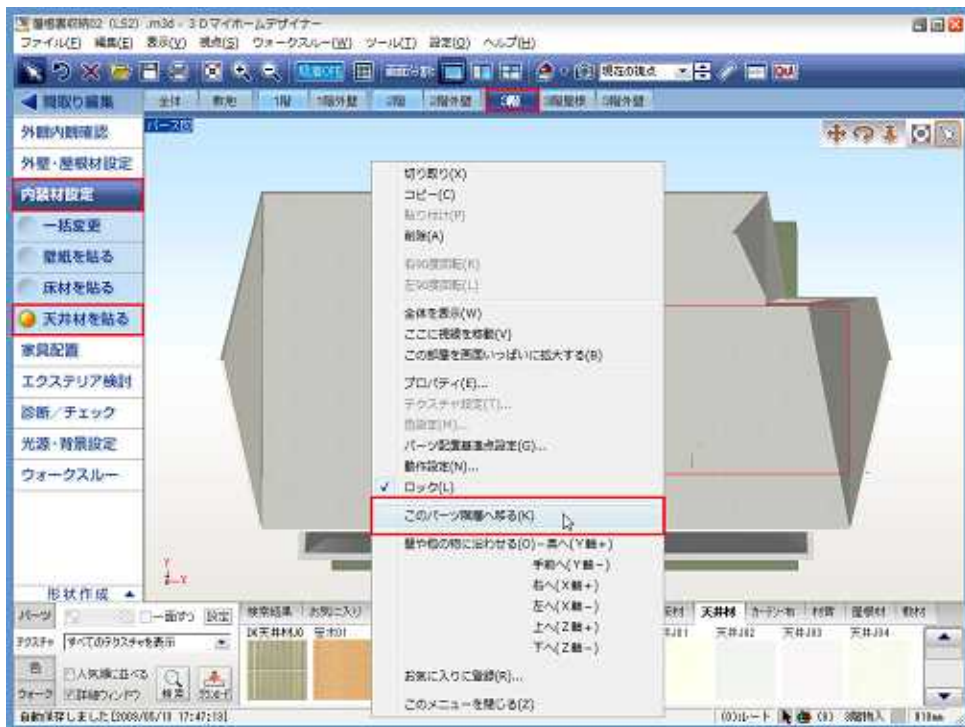
4) 「物入」の天井を削除したら、一度、フロアタブの[3階]を選択して元の階層に戻ります。

5) 次に「吹抜」の部屋を選択し、右クリックして「このパーツ階層へ移る」を選択します。

階層を移動し、「吹抜」だけが表示されます。

6) 「物入」と同様に、「吹抜」の天井をクリックして選択し、ツールバーの[削除]ボタンか、[Delete]キーを押します。

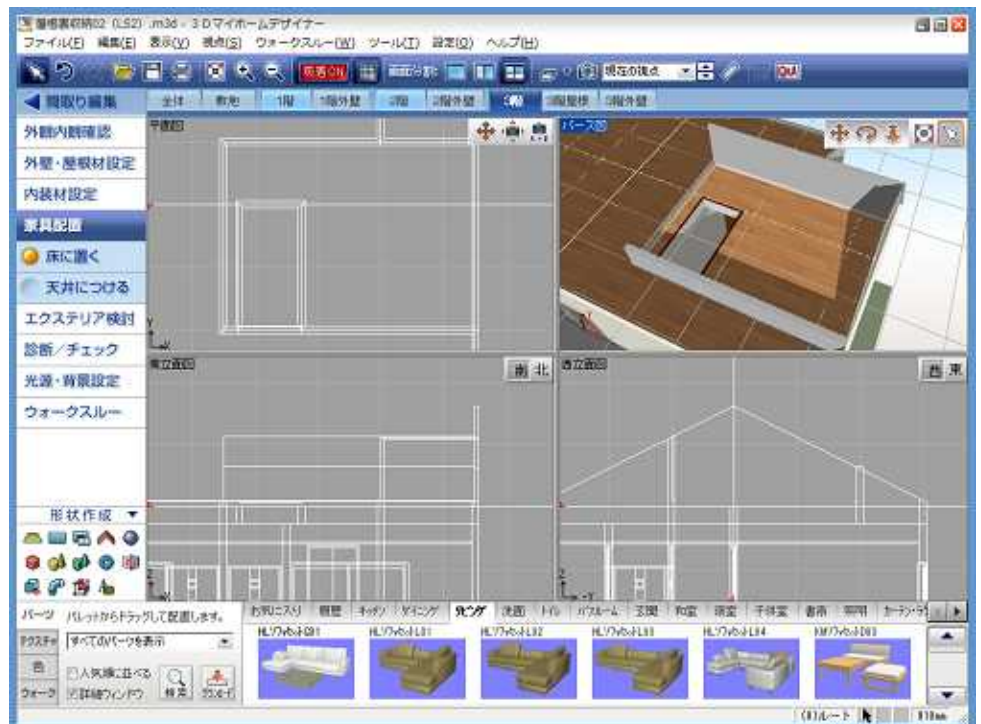
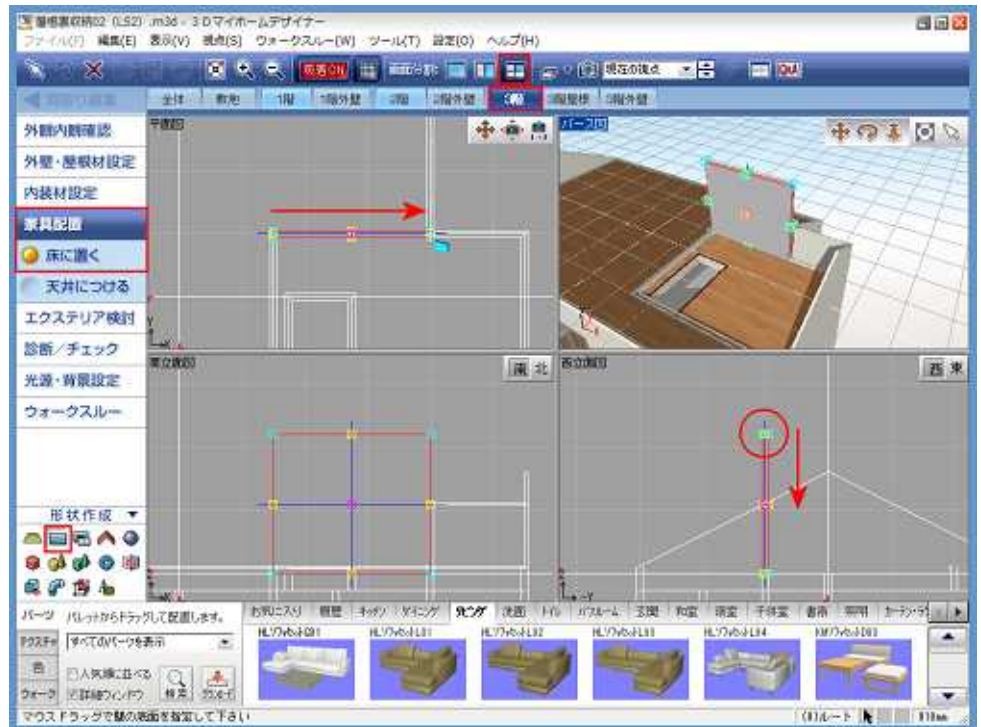
確認の画面が表示されたら[はい]をクリックします。





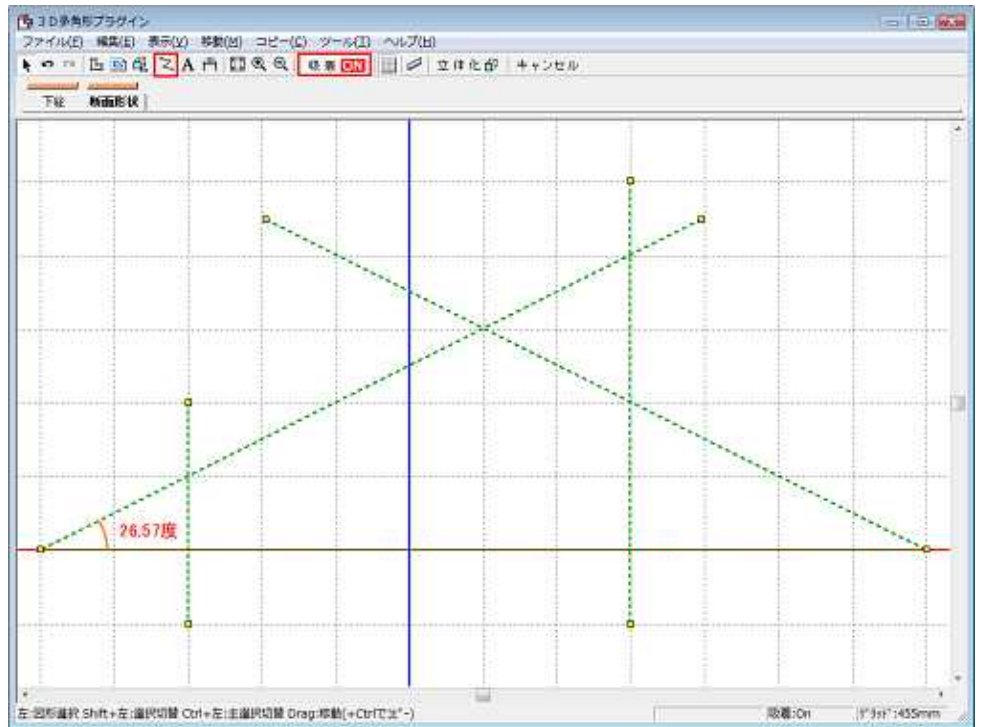
#### 操作4 屋根裏収納にストレートの壁を作成します。

- 1) ナビの[家具配置] [床に置く]を選択し、フロアタブの[3階]を選択します。
- 2) ツールバーの[四面図表示]ボタンをクリックし、画面を切り替えます。必要であれば[吸着 ON]にします。
- 3) ナビ下部の[形状作成]をクリックして、形状作成パレットの「壁」ツールをクリックし、平面図上でドラッグします。
- 4) 作成した壁を選択し、黄色のハンドルをドラッグしてサイズを調整します。
- 5) 同じ要領で、「壁」ツールを使って必要な壁をすべて作成します。



### 操作5 屋根裏収納に屋根勾配に沿った壁を作成します。

- 1) 形状パレットの[3D多角形]ツールをクリックします。[3D多角形プラグイン]が表示されます。
- 2) ツールバーを「吸着 ON」にし、「ツール」メニューの「グリッド設定」で、グリッド幅を設定します。  
ここでは、グリッド幅を「455mm」に設定しています。
- 3) ツールバーの[補助線入力]ボタンをクリックし、作成する壁のガイド線を作成します。

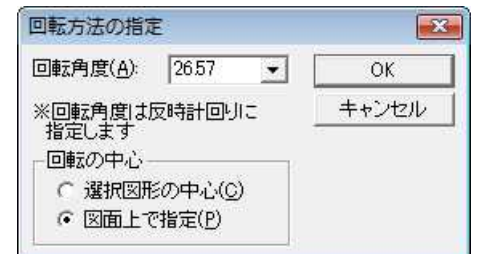


#### [作成した補助線を屋根の勾配(角度)に回転する方法]

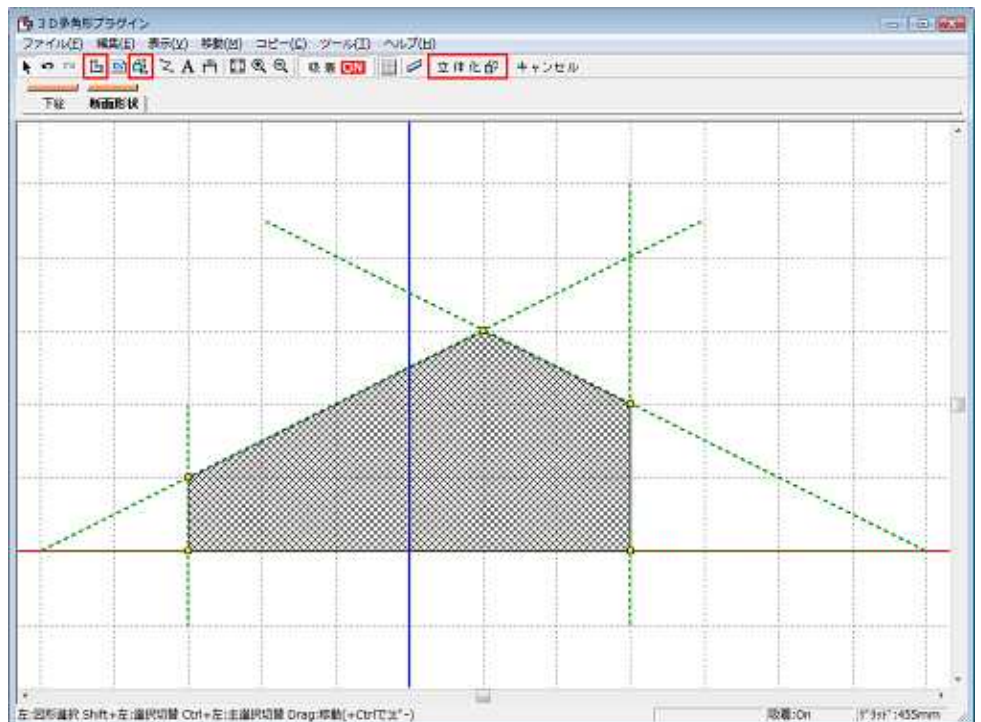
作成した直線をクリックして選択状態にし、「移動」メニューの「回転移動」 - 「角度指定回転」を選択します。

「回転方法の指定」の「回転角度」に数値を入力します。

この例では5寸勾配「26.57」にしております。



- 4) ツールバーの[多角形入力]ボタンをクリックし、作成したガイド線に沿って壁の断面図を作図します。
- 5) ツールバーの[厚み設定]ボタンをクリックし、壁厚を「100mm」に設定します。
- 6) ツールバーの[立体化]ボタンをクリックします。3D画面に戻り、作図した断面図が立体化されます。



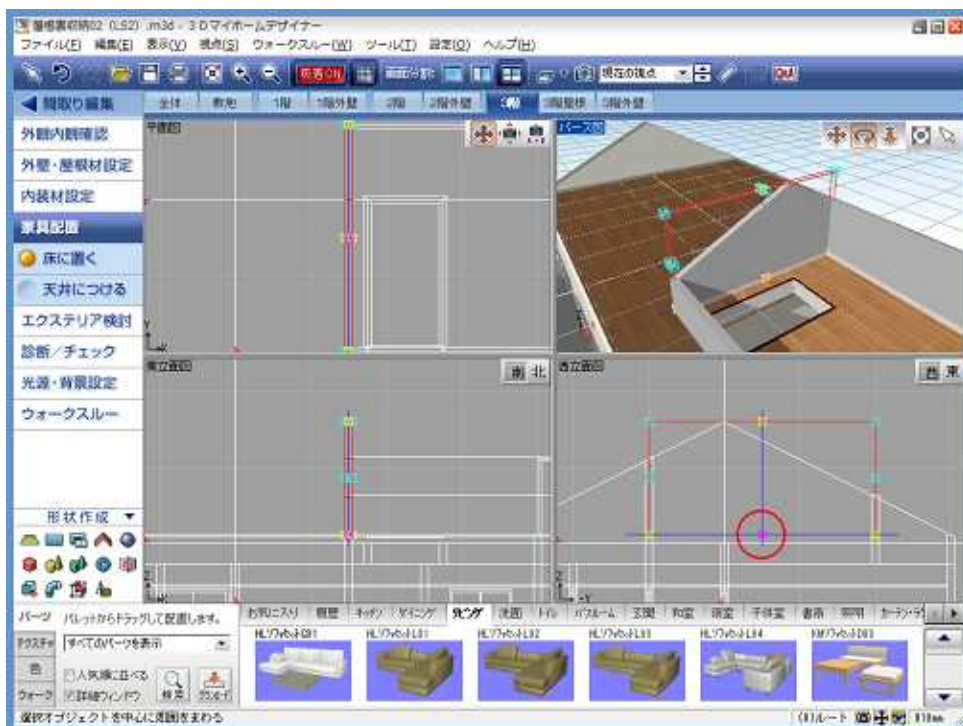
- 7) 立体化された形状をダブルクリックし、「パーツのプロパティ」の「RX」に「90.00」と入力し、「マウスドラッグでサイズと傾きの変更を可能にする」にチェックを入れて[OK]をクリックします。

形状が立ち上がります。



- 8) 立体化された形状をクリックして選択し、平面図や立面図で水色のハンドルをドラッグして回転し、ピンクの原点をドラッグして位置を調整します。必要であれば黄色のハンドルをドラッグしてサイズを調整します。

- 9) テクスチャパレットや色パレットに切り替え、作成した壁に壁紙や色を貼り付けます。





**操作 1** 屋根裏収納用のはしごパーツをダウンロードして配置します。

- 1) 3D画面でナビの[家具配置] - [床に置く]を選択し、フロアタブの[2階]を選択します。  
ツールバーの[屋根・天井の状態設定]を「屋根・天井を半透明」に切り替えます。

- 2) 3D画面の「ヘルプ」メニューの「メガソフトの Web ページを表示」 - 「素材データダウンロード データセンターのページ」を選択し、「データセンター」のトップページを表示します。

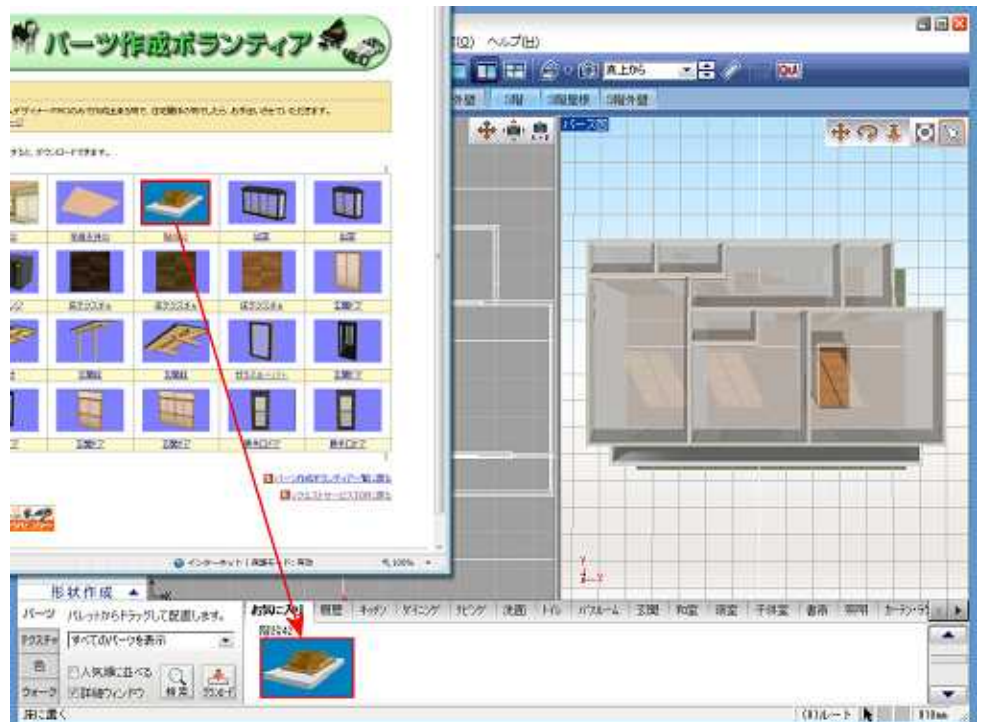
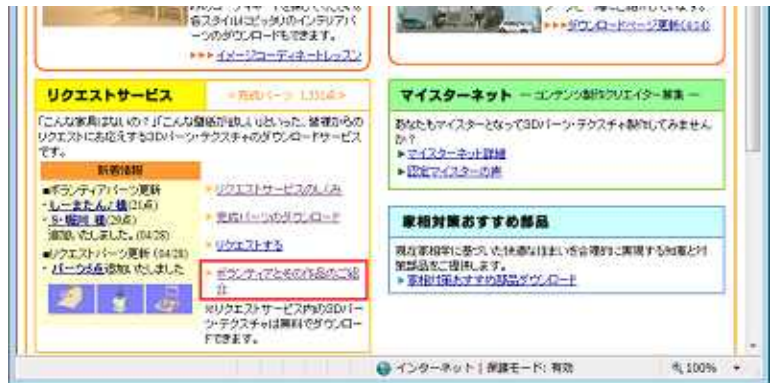
- 3) 「リクエストサービス」の「ボランティアとその作品のご紹介」のリンクをクリックします。

- 4) 「パーツ作成ボランティア」の1ページ目トップの「GAKU 様」をクリックします。

- 5) GAKU 様が作成されたパーツの中に、「階段 42」というパーツがあります。

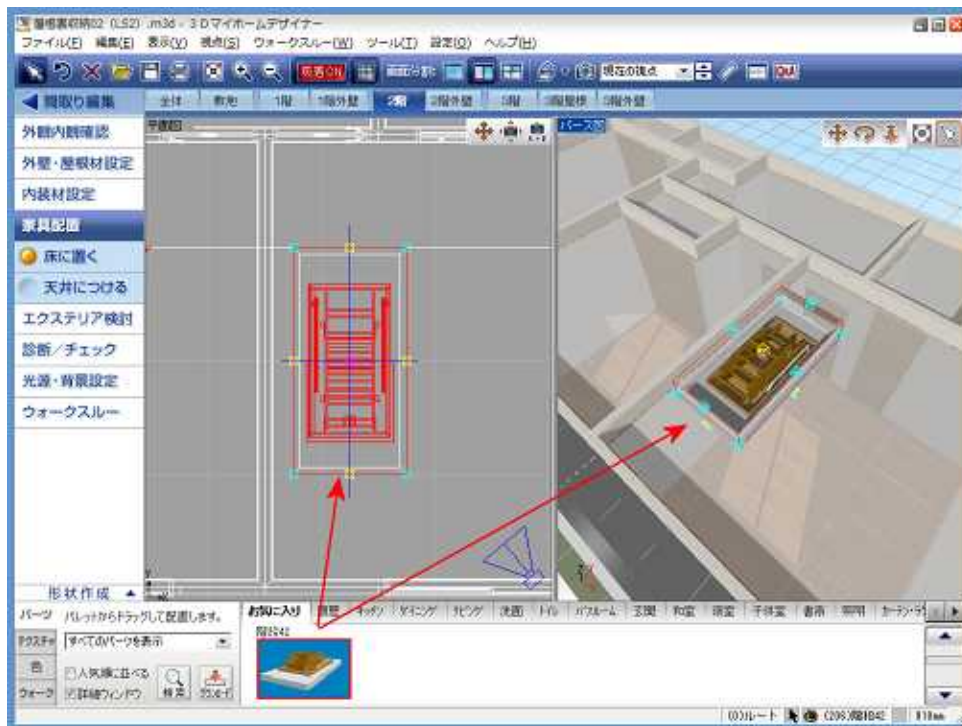


- 6) 3D画面でパーツパレットを[お気に入り]タブに切り替え、「階段 42」のサムネイルを直接[お気に入り]タブにドラッグします。  
パーツがダウンロードされ、パレットに保存されます。





- 7) [お気に入り]に保存した「階段 42」を吹抜け部分に配置します。
- 8) 配置した「階段 42」をダブルクリックし、[パーツのプロパティ]の「Z」に「2400」と入力して[OK]をクリックします。
- 9) 配置位置を編集したら、作業終了です。  
フロアタブの[3階]を選択して確認します。



**注意**

[操作3]で削除した天井は、[間取り編集]をクリックして間取り画面に戻って再立体化すると、新たに自動生成されます。そのため、[操作3]以降の作業は、なるべく間取り画面での作業が完了してからおこなってください。間取り画面に戻って再立体化した場合は、もう一度[操作3]の操作をおこなって天井を削除してください。